

エコアクション21 環境活動レポート

2018



【活動期間：2018年4月1日～2019年3月31日】

桜の木々と吾妻小富士の雪うさぎ



発行日：2019年5月25日

日東産業株式会社

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15

TEL:024-553-5375 FAX:024-556-0418

E-mail: info@nitto-sanngyo.co.jp

目次

1. 環境方針	1頁
2. 組織の概要	2頁
3. 取組み対象範囲と対象活動	2～3頁
4. 取組対象期間	2頁
5. 環境目標	4～6頁
6. 環境活動計画	7～8頁
7. 環境活動の実績と評価	9～11頁
8. 環境活動計画の取組と評価	12～14頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	15頁
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	15頁
12. 組織図	16頁
12. 保有許可一覧	17頁
13. 所有車両一覧	18頁
14. 受託した産業廃棄物の収集運搬料	19頁
15. 行動規範等	20頁

1. 環境方針

日東産業株式会社

環境方針

【環境理念】

お客様を第一に地域生活のトータルな安全衛生作りと地域と共に発展するとの経営理念のもと、企業活動と自然環境の調和を図りながら、社員一人ひとりが、地域のみなさまと連携して環境の保全と向上に努めます。

【行動指針】

- 1、 環境関連法規の遵守
事業活動に関わる環境関連法規、条例、協定などを遵守します。
- 2、 資源・エネルギー及び廃棄物の抑制
省資源、省エネルギー、総排水の削減、リサイクル、廃棄物の減量化など積極的に取組ます。特に次の3項目について重点的に推進します。
 - a) ,地球温暖化防止の為、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - b) ,廃棄物処理業者として、環境への負担を低減させる為に、廃棄物の適正処理及び削減に取り組めます。
 - c) ,節水に努め、総排水量の削減に取り組めます。
- 3、 環境汚染予防と再資源化の推進
省資源・省エネルギー及び廃棄物の抑制を実現する為の環境マネジメントシステムを確立し、環境改善の目的・目標を明らかにして継続的改善に取り組めます。
- 4、 会社全員参加による環境保全活動の実施
社員に対する環境教育を充実させ、環境保全意識の向上を図るとともに、地域になくはない事業所として環境保全活動に積極的に参画し、地域社会に貢献してまいります。

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

■ 日東産業株式会社 ■ 代表取締役 占部 恵太

2-2. 事業の概要

■ 一般廃棄物収集運搬(し尿、ごみ) ■ 産業廃棄物収集運搬業
 ■ 特別管理産業廃棄物収集運搬業 ■ 浄化槽清掃業 ■ 浄化槽保守点検業
 ■ 下水道管更生業

2-3. 所在地と連絡先(担当者)

1033.7 1,463削
 ■ 住 所:〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
 (連絡先:TEL024-557-5375 FAX024-556-0418 Email:info@nitto-sangyo.co.jp)

■ 担当者:環境管理責任者 菅野 三千秋

2-4. 事業規模

■ 創業:昭和 39 年 7 月 1 日 ■ 資本金:1,050万円
 ■ 敷地面積:2842.97㎡ ■ 事業所の述べ床面積:877.82㎡
 ■ 売上高と総従業員数:

事業年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上金額(百万円)	1,200	1,210	1,182
総従業員数(人)	102	110	115

注):売上金額は、当社会計年度(当年4月～翌年3月まで)による。

注):2018年度認暫定証範囲従業員数は83名とする。

3. 取組の対象範囲と対象活動

3-1. 認証の対象範囲

■ 全組織(上記事業内容)

3-2. 認証の対象活動

■ 全活動(上記事業内容)

※日東産業株式会社組織内の福島医科大学(19名)は請負契約で相手先の企業に常駐して業務を請負っている。あらかじめクリーンセンター(飛灰:7名)(清協:4名)、金沢処分場(2名)は出向契約で、出向先の指揮命令の下で業務を行っている。協力会社・出向先の従業員として相手先の環境経営システムの構成員となり、日東産業株式会社の構成員数には含まない。また、砕石場においては、現在では稼動していなく、1名が管理のみとなり、環境負荷は極めて小さいことから、砕石場も構成員には含まないものとする。

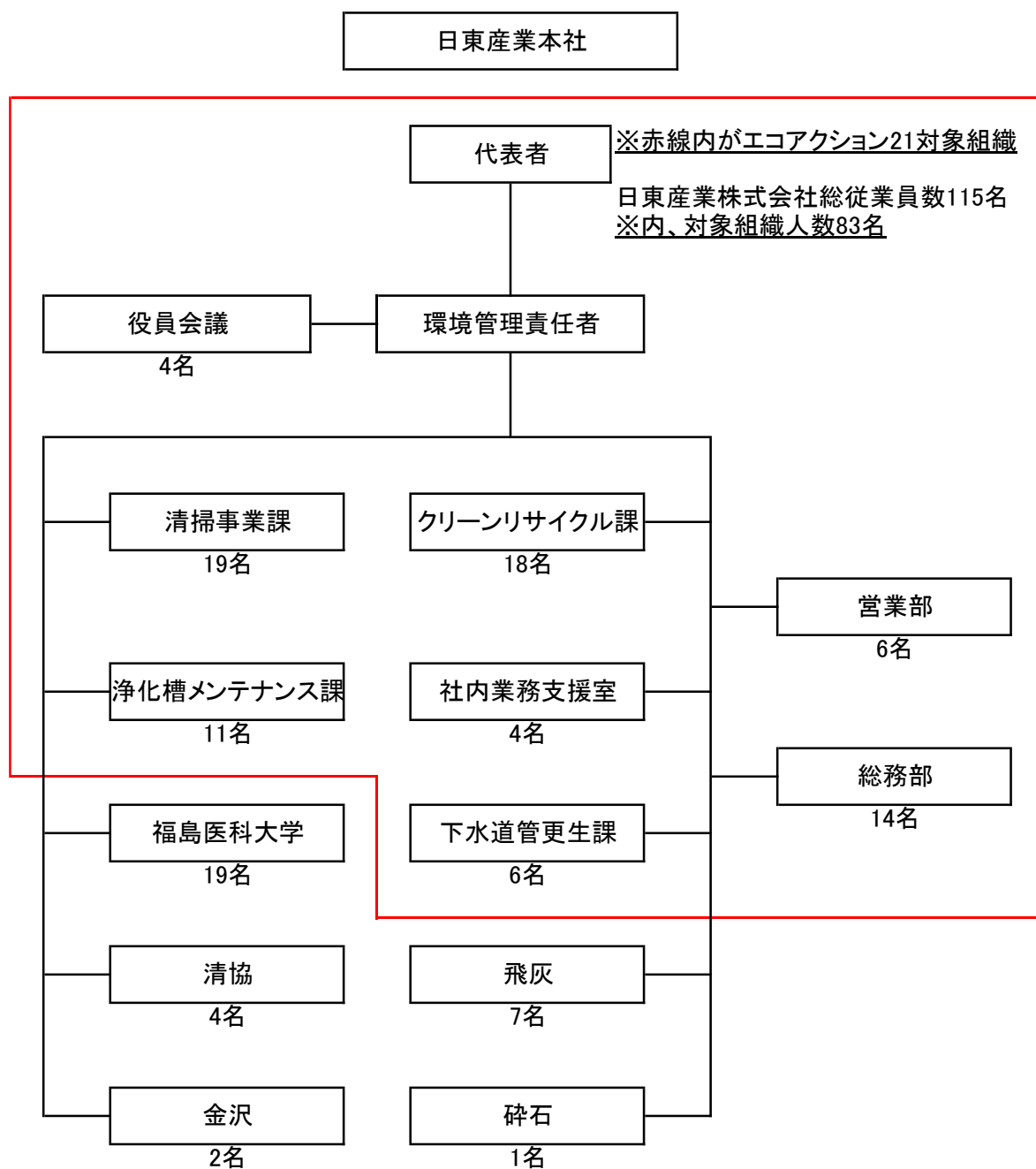
4. 取組対象期間

4-1. 環境活動レポートの対象取組期間

■ 2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

対象組織図

制定日	2016.4.12
改定日	2019.3.31



5. 環境目標

5-1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- ①二酸化炭素排出量
- ②廃棄物排出量
- ③総排水量(水使用量)
- ④グリーン購入
- ⑤自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮
- ⑥社会貢献活動

5-2. 主な環境負荷の実績

2017年度、当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)			廃棄物排出量(kg)		総排水量(m ³) (水使用量) ※2
電力(係数:0.571) ※1	灯油 LPG	ガソリン 軽油	一般 廃棄物	産業 廃棄物	
61,065	1,034	60,993	4,881	4,140	1,106

※1…購入電力の二酸化炭素排出係数は0.571を使用。

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量を把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

5-3. 環境目標(短期・中長期目標)

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の必須3項目ならびに自主設定項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標		
	2018年度 (H29.4～H30.3)	2019年度 (4月～3月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)
CO ₂ 全体	2015年度同期比 3%削減	2015年度比 4%削減	2015年度比 5%削減	2015年度比 6%削減
電力量	2015年度比 3%削減	2015年度比 4%削減	2015年度比 5%削減	2015年度比 6%削減
LPG	2015年度同期比 3%削減	2015年度比 4%削減	2015年度比 5%削減	2015年度比 6%削減
灯油	2016年度比 3%削減	2016年度比 4%削減	2016年度比 5%削減	2016年度比 6%削減
ガソリン	2015年度同期比 3%削減	2015年度同期比 4%削減	2015年度同期比 5%削減	2015年度同期比 6%削減
軽油	2015年度同期比 3%削減	2015年度同期比 4%削減	2015年度同期比 5%削減	2015年度同期比 6%削減
自社排出再資源化量	2017年度同期比 3%削減	2017年度同期比 4%削減	2017年度同期比 5%削減	2017年度同期比 6%削減
グリーン購入	購入率 75%以上	購入率 80%以上	購入率 85%以上	購入率 90%以上
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮	2016年度比 2%増加 71.4点	2016年度比 3%増加 72.1点	2016年度比 4%増加 72.8点	2016年度比 5%増加 73.5点
地域貢献活動	清掃活動 3回/年以上	清掃活動 3回/年以上	清掃活動 3回/年以上	清掃活動 3回/年以上

単年目標(2018年4月～2019年3月)

取組対象期間	項目	2015年度実績 (H27.4～H28.3)	2018年度目標 (H30.4～H31.3)
収集運搬量	収集運搬量(t・年)	28,514	
CO ₂ 全体 (3%削減)	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	544,602	528,264
	二酸化炭素排出量原単位 (kg-CO ₂ /t)	19.1	18.5
電力量 (3%削減)	電気使用量 (kg-CO ₂ /年)	106,146	102,962
	電気使用量原単位(L/t・年)	3.7	3.6
LPG (3%削減)	LPG(kg/年)	696	675
	LPG使用量原単位(L/t・年)	0.0244	0.0237
灯油 (3%削減)	灯油(L/年)	634	615
	灯油使用量原単位(L/t・年)	0.0222	0.0216
ガソリン (3%削減)	ガソリン(L/年)	30,997	30,067
	ガソリン使用量原単位 (L/t・年)	1.09	1.05
軽油 (3%削減)	軽油(kg-CO ₂)	156,658	151,958
	軽油使用量(L/t・年)	5.49	5.33
自社排出 再資源化量	再資源化量(t/年) ※2016年度実績	1.066	1.098
	再資源化量原単位(t/t・年) ※2016年度実績	0.000037	0.000039
総排水量 (9%削減)	処理水量(m ³ /年)	1,576	1,529
	処理水量原単位(m ³ /t・年)	0.055	0.054
グリーン購入(%)		データなし	75%以上維持
自ら生産・販売・提供する商品 及びサービスについての環境配慮※1		エコドライブによる 燃費削減 データなし	71.4点
地域社会貢献活動		清掃活動の実施 1回	清掃活動の実施 3回

※1…自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮については、エコサムの総合評価点(波状指数・アイドリング時間等)の点数を活用しメーカー推奨点数(70点)を基準点とする。

6. 主な環境活動計画

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

- 室内温度は、冷房時26℃、暖房時は22℃の設定とする。
- こまめに不要照明の消灯を行う。
- OA機器等のエコモードによる電力の削減。



②ガソリン軽油使用量の削減

- アイドリング時間の削減。
- 急加速・急減速をしないようにする。
- 必要ないものは車内に置かない。(軽量化)
- 法定速度を遵守する。
- タイヤの空気圧チェックをする。(1/3ヶ月)



6-2. 廃棄物排出量の削減

①廃棄物の削減

- 廃棄物の分別の徹底。
- 廃棄物置場の整理整頓の徹底。
- 備品等を大切にしようする。



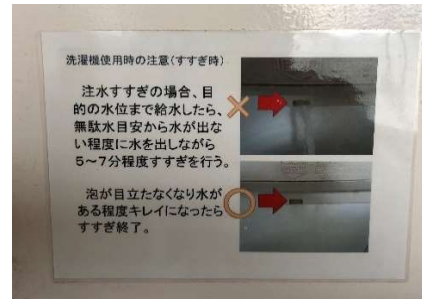
②紙使用の削減

- コピー数量の削減。
- 必要ない用紙の裏面をメモ用紙にして再利用する。
- 可能なものは両面印刷にする。



6-3. 水使用量の削減

- 水道使用時にはこまめに水を止めて節水をする。
- 浄化槽水張用タンクの管理
- 洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。



6-5. グリーン購入の推進

- グリーン購入対象商品のリストアップを行う。
- グリーン購入対象商品の優先的購入。



6-6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

- エコサムを有効活用し、安全運転・エコドライブに努める。

6-7. 地域社会貢献活動の推進

- 地域清掃活動の実施。
- 消防団事業所として災害発生時には可能な限り協力する。



環境目標の実績と評価(総量及び原単位基準)2018年度

対象取組期間(12ヵ月)における環境目標の達成状況は下記の示すとおりでした。

	項目	2015年度 実績 (基準年)	2018年4月～2019年3月				
			目標値	実績	削減率	達成率	評価
収集運搬量	収集運搬量(t・年)	28,514		46,956			
CO ₂ 全体 (3%削減)	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	544,602	528,264	507,236	6.9	104.1	◎
	二酸化炭素排出量原単位 (kg-CO ₂ /t)	19.1	18.5	10.8	43.4	171.5	◎
電力量 (3%削減)	電気使用量 (kg-CO ₂ /年)	106,146	102,962	97,176	8.5	106.0	◎
	電力使用量原単位 (L/年)	3.7	3.61	2.07	44.4	174.5	◎
LPG (3%削減)	LPG(kg/年)	696	675	754	-8.3	89.5	△
	LPG使用量原単位 (kg/t・年)	0.0244	0.0237	0.0161	34.2	147.45	◎
灯油 (3%削減)	灯油(L/年)	634	615	272	57.1	226.1	◎
	灯油使用量原単位 (L/t・年)	0.0222	0.02157	0.00579	73.9	372.33	◎
ガソリン (3%削減)	ガソリン(L/年)	30,997	30,067	24,367	21.4	123.4	◎
	ガソリン使用量原単位 (L/t・年)	1.09	1.05	0.52	52.3	203.20	◎
軽油 (3%削減)	軽油(kg-CO ₂)	156,658	151,958	150,017	4.2	101.3	◎
	軽油使用量原単位 (L/t・年)	5.49	5.33	3.19	41.8	166.8	◎
自社排出 再資源化 量(2%増加)	再資源化量(t/年) 2016年度実績基準	1.066	1.087	1.050	-1.5	96.6	○
	再資源化量原単位 (t/t・年)	0.000037	0.000038	0.000022	-40.2	58.6	×
総排水量 (9%削減)	処理水量(m ³ /年)	1,576	1,434	1,660	-5.3	86.4	△
	処理水量原単位 (m ³ /t・年)	0.055	0.050	0.035	36.0	142.3	◎
グリーン購入(%)		データなし	75%以上	90%以上	0.15	120.0	◎
自ら生産・販売・提供する商品及び サービスについての環境配慮		データなし	71.4点	94.6点	23.2	1.325	◎
地域社会貢献活動		清掃活動実施 1回	清掃活動 3回	清掃活動 3回			◎

【評価区分】: ◎→達成率100%以上、○→達成率90%以上～100%未満、△→達成率70%以上～90%未満、×→達成率70%未満

①CO₂全体(目標:3%削減)

総量評価=6.9%削減。原単位評価=43.4%削減となりました。両方の評価で目標を達成する事が出来ました。来年度も大幅に削減できるように努めます。

②電力使用(目標:3%削減)

総量評価=8.5%削減。原単位評価=44.4%削減でした。両方の評価で達成する事が出来ました。来年度も大幅に削減できるように努めます。

③LPG使用(目標:3%削減)

総量評価=-8.3%削減。原単位評価=34.2%削減。原単位評価では達成出来ました。来年度では両方の評価方法で達成できるように努めます。

④灯油使用(目標:3%削減)

総量評=57.1%削減。原単位評価=73.9%削減。両方の評価で達成する事が出来ました。来年度も達成できるように努めてまいります。

⑤ガソリン使用(目標:3%削減)

総量評価=21.4%削減。原単位評価=52.3%削減。低燃費車両導入・エコサムのおかげで大幅な削減が出来ました。来年度も削減できるように努めます。

⑥軽油使用(目標:3%削減)

総量評価=4.2%削減。原単位評価=41.8%削減。ガソリン同様に低燃費車両導入・エコサムのおかげで削減できました。来年度も削減できるように努めます。

⑦総排水量(目標:9%削減)

総量評価=-5.3削減。原単位評価=36.0%削減。原単位評価では達成できました。浄化槽の水張用の地下水の代わりに水道水を使用しているので来年度は対策を講じるように致します。

⑧再資源化量(目標:2%増加)

総量評価=-1.5%。原単位評価=-40.3%。両方の評価で大幅な増加となりました。しかし、ゴミの排出量には削減は出来てます。来年度では再資源率を高められるように努めます。

⑨グリーン購入(目標:75%以上)

目標を達成しました。使用車両のタイヤは出来るだけエコマークが付いているタイヤを導入する様に致しました。

⑩自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮(目標:2%増加)

目標を大幅に超えた数字が出ました。来年度もこの水準をキープしてまいります。

⑪地域社会貢献活動(目標:3回)

エコアクション21の取組を行ってきて、初めて目標の3回目の清掃が行えました。来年度では、他の地域貢献活動等を検討していきます。

8. 環境活動計画の取組と評価（2018.4～2019.4）

8-1. 環境活動計画の取組と評価

評価区分：◎…十分に取組んだ ○…ある程度取組んだ △…やや不十分 ×…不十分

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量	電力使用量の削減	■室内温度は冷房時26℃、暖房時22℃の設定を行う。	○
		■こまめに不要照明の消灯を行う。	◎
		■OA機器・家電製品のエコモードによる電力削減。	◎
	エコドライブによる消費燃料の削減	■アイドリングの時間削減。(エコサム活用)	◎
		■急発進、急加速をしないようにする。(エコサム活用)	◎
		■必要ないものを車内に置かない。(車輛の軽量化を図る)	◎
		■法定速度を遵守する。(エコサム活用)	◎
廃棄物排出量の削減	廃棄物の削減	■廃棄物分別の徹底。(再資源化促進)	◎
		■廃棄物置場の整理整頓。	◎
		■備品を大切に使用する。	○
	紙削減	■コピー数量の削減。	○
		■必要ない用紙の裏側をメモ用紙に利用する。	○
		■可能なものは両面印刷を実施する。	○
総排水量(水使用量)の削減		■水道使用時にはこまめに水を止めて節水する。	○
		■地下水の使用量の把握と浄化槽水張タンクの管理。	◎
		■洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。	◎
グリーン購入の推進		■グリーン購入対象商品のリストアップ及び優先的購入。	◎
		■再生紙のトイレトペーパーの優先的購入。	◎
自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮		■エコサムを有効活用し安全運転・エコドライブに努める。	◎
地域社会貢献活動の推進		■地域清掃活動の実施。	◎
		■消防団事業所として災害発生時には可能な限り、協力する。	○

1. 電力使用量の削減の取組について

日東産業本社の電力使用量削減する為の、具体的な取組内容としては、3項目を実施しました。室内温度を冷房時26℃、暖房時22℃の温度設定の取組は総務課、営業を中心として、積極的に取組んできましたが、今年の夏も猛暑で社員の健康面を考慮し、設定温度よりも下げる事が多くありました。それ以外では、設定温度を変更する事がなく〇と致しました。今回初めてエアコンの清掃等を依頼し定期的に清掃等を行う予定です。こまめに消灯は、社員全員が意識して行えているので◎と致します。消し忘れが多い廊下の照明器具を感知センサーを取付けました。OA機器等の節電モードによる電力削減においては、担当者から継続的に実施できているとの報告受け、評価は◎と致しました。

2. エコドライブによる消費燃料の削減の取組について

アイドリング時間の削減、急発進、急減速、法定速度遵守においては、エコサムのデーターを活用し安全管理部長を交え各課ごとに勉強会を実施したりと、積極的に取組めましたので◎と致します。

必要なものを車内に置かないは、前年通り実施出来てましたので◎と致します。
タイヤの空気圧チェックについては、各課ごとの車両にタイヤローテーション予定表を作成し実施いたしました。予定表通りにはいかなかったのですが、3か月に1回はチェックは出来ていたので、◎と致します。

3. 廃棄物排出量の削減

廃棄物の分別の徹底、廃棄物置場の整理整頓、備品を大切に扱うという取組については、前年同様にクリーンリサイクル課が先頭に立ち積極的に取組めました。また、総務課、営業が中心となり、コピー数量の削減、必要ない用紙の裏紙をメモ用紙に利用する、可能なものは両面印刷にするという取組は、前年よりは意識して実行しましたが、まだまだ取組が不十分だと思いますので、積極的に紙書類等を電子化を進めてまいります。産業廃棄物におきましては、マニフェストに基づいた適正な処理、適正な保管、油水分離槽の維持管理を適正に行うという取組内容がしっかりと実施出来ていました。今後も継続的に取組んで参ります。

4. 総排水量(水使用量)の削減

総排水量(水使用量)の削減についての取組は、水道使用時は、こまめに水を止めて節水するは良く出来ておりましたが、浄化槽の水張用の地下水のタンクが空になり地下水の代わりに水道水を使用していた為に水道の使用量が増えてしまいました。来年度は対策を検討します。

洗濯機の使用については、前年と違い洗濯機を使用する者は、脱水になるまではその場を離れる者がいなくなりました。

5. グリーン購入

前年同様に、事務用品のグリーン購入対象商品を積極的に購入し、使用車両のタイヤを出来るだけエコマークが付いているタイヤを購入しました。

6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

エコサムを有効活用し、走行中の事故またはクレームはありませんでした。エコドライブのおかげで、燃料削減が出来ております。

7. 地域社会貢献活動の実施

地域社会貢献活動の実施については、エコアクション21の取組を始めてから、やっと目標の年3回実施を行うことが出来ました。今後は、違った地域社会貢献活動を考えていきます。

また、消防団事業者として災害発生時は協力を惜しまない取組は、より強化を図るために、災害発生時に備えて、組織の編制を構築していきたいと考えております。

8. 次年度の取組内容

浄化槽の水張用の地下水の運用方法(タンク増設・バキューム車の水汲みの時間調整)を考えなければならない。環境活動計画の内容変更、地域社会貢献活動を清掃以外の活動を検討し実施出来る様に検討していきます。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

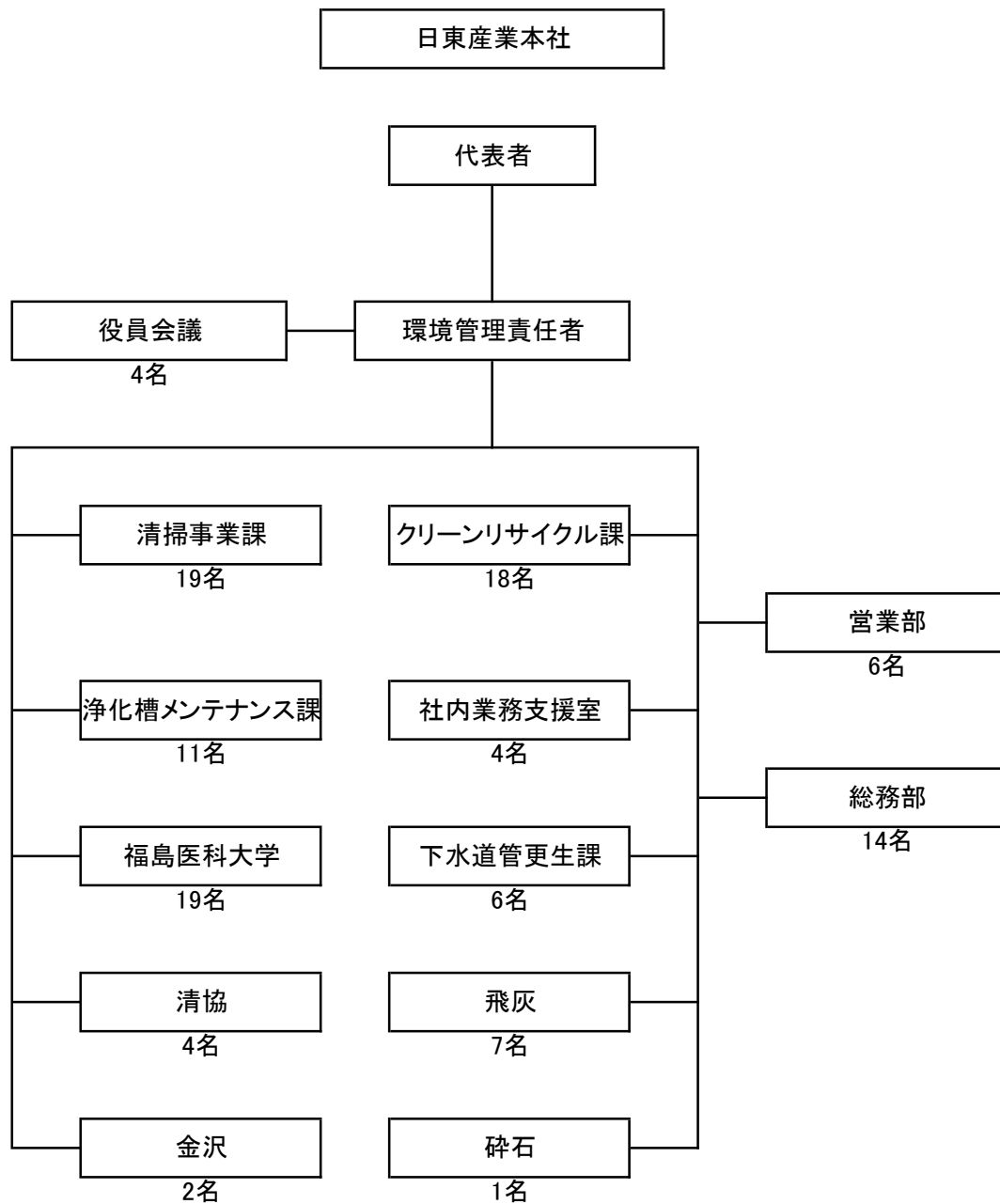
2018年12月 7日付において、環境関連法規の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、創業以来一度也没有。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21スタート時からを考えると、社員一人一人が意識して取り組んでのおかげで目標が達成が来ているのと、当初なかった問題(浄化槽水張用地下水タンク)が出てきたりしているがタンクを増やすなどの対応を行う様に。世界的にプラスチックごみが問題になってきている中で、自社排出の廃プラスチックの量が増えてきている。今後は、プラスチックの物(部品等)を再資源化出来る物に変更できるなら、出来るだけ変更し排出量を減らし、再資源化量を増やしていかなければならない。
また、来年度の目標・取組を大幅に変更し、社員がマンネリ化しない様に工夫して取り組む様に。

組織図

制定日	2016.4.12
改定日	2019.3.31



所有車輛一覧（日東産業株式会社）

- ・パッカー車13台(内、2台が計量付) ・糞尿車(バキューム車)9台(内8台が箱車)
 - ・揚泥車1台 ・高圧洗浄車1台 ・ダンプ4台
 - ・脱着装置付コンテナ専用車1台 ・4tキャブオーバー車1台 ・3tHVアルミバン1台
 - ・小型貨物車1台 ・普通貨物車1台 ・保冷車(感染性貨物車)1台 ・保冷車(貨物)1台
- 計 約37台



パッカー車



糞尿車(バキューム車)



高圧洗浄車



大型ダンプ



4tキャブオーバー車



脱着装置付コンテナ専用車



3tHVアルミバン



保冷車(貨物)

※2018年11月30日現在

保有許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可一覧					燃 之 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	水 銀 廃 棄 物	廃 プ ラ ス チ ッ ク	木 く ず	紙 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス ・ コ ン ク リ ー ト ・ 陶 磁 器 く ず	鋳 さ い	が れ き 類	ば い じ ん	動 植 物 性 残 渣	動 物 の ふ ん 尿
No.	都道府県 市町村	許可年月日	有効期限	許可番号																	
1	福島県	H.29.7.12	H.34.7.2	第00701004874	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	宮城県	H.28.2.2	H.33.2.1	第00400004874	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○

特別管理産業廃棄物収集運搬業(感染性)許可一覧					汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 ア ル カ リ	感 染 性 廃 棄 物
No.	都道府県 市町村	許可年月日	有効期限	許可番号					
1	福島県	H.30.8.31	H.35.7.6	第00751004874					○
2	福島市	H.30.7.25	H.35.7.6	第12460004874					○

一般廃棄物許可一覧					
No.	市名	許可期限	許可番号	廃棄物の種類	業務の種類
1	福島市	H.30.7.1～H.32.6.30	第13号	浄化槽清掃	収集・運搬
2	福島市	H.30.7.1～H.32.6.30	第14号	一般廃棄物 (ごみ)(し尿・浄化 槽に係る汚泥)	収集・運搬
3	伊達市	H.30.4.1～H.32.3.31	第29-26号	一般廃棄物	収集・運搬
4	桑折町一円	H.30.4.1～H.32.3.31	第10号	一般廃棄物	収集・運搬

その他				
No.	都道府県 市町村	許可期限	許可番号	業務の種類
1	福島県	H.30.12.14～H.33.12.13	福島県知事 第 1051 号	浄化槽保守点検業
	福島市	H.30.12.14～H.33.12.13	第 3 号	浄化槽保守点検業
	郡山市	H.29.7.3～H.32.7.2	第 151 号	浄化槽保守点検業
2	福島市	H.28.4.1～H.33.3.31	第 146 号	排水設備指定工事店
3	福島県	H.31.2.16～H.37.2.15	福島県 19清 第 102 号	建築物清掃業
4	福島県	H.27.7.13～H.32.7.12	福島県知事 許可(般-27) 第 28524 号	一般建設業 (土木工事業、石工事業、しゅんせつ工 業、とび・土工事業、ほ装工事業)

※2019年3月31日現在

受託した廃棄物収集運搬量

2018年度(H30.4～H31.3)

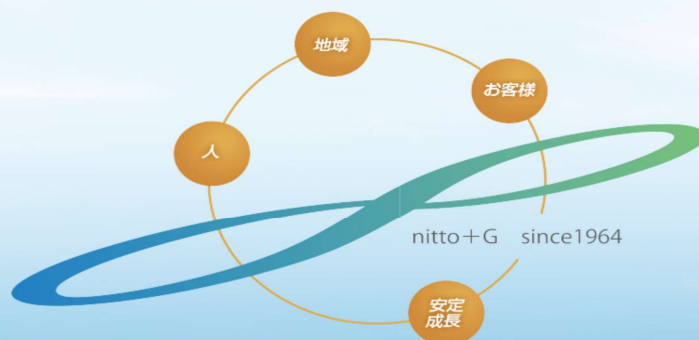
一般業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	汚泥(し尿)	福島市下水道処理センター	21,243.3
	雑誌・新聞・段ボール	再生	2,086.7
	缶類	再生	798.1
	ペットボトル	再生	1,306.9
	その他可燃物	福島市焼却場施設	17,681.1
	合計		43,116.1

2018年度(H30.4～H31.3)

産業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	アスコンがら		0.7
	コンクリートがら		24.9
	ガラスくず・陶磁器くず		436.9
	LED		0.014
	がれき類		65.2
	金属くず		53.4
	混合廃棄物		257.7
	紙くず		1.6
	木くず		112.2
	繊維くず		0.5
	廃ロール芯		3.8
	廃プラスチック		1,655.4
	汚泥		155.1
	燃え殻		17.8
	蛍光灯		0.9
	不燃物・ビン類		1,014.7
	廃石膏ボード		0.8
	感染性廃棄物		34.3
	合計		3836.0

日東産業ホールディングスグループは、
地域生活基盤維持のために、必要とされる企業体として

- ・ **地域** のお客さまを原点に、
- ・ **地域** 生活のトータルな安全衛生作りに努め、
- ・ **地域** と共に発展することを目指します。



日東産業ホールディングス株式会社

日東産業株式会社 ・ 日東シフト株式会社 ・ 日東環境整備株式会社 ・ 日東物流株式会社
ニッソー商事株式会社 ・ 有限会社 東邦清掃社 ・ 新日東株式会社

日東産業ホールディングスグループ基本理念

Mission 01	安定・成長 日東産業ホールディングスグループは事業の安定・成長を目指します。
Mission 02	お客さま第一 日東産業ホールディングスグループはお客さま第一とし、 お客さまから必要（信頼・信用・品質）とされる企業を目指します。
Mission 03	人 日東産業ホールディングスグループは人が基本であり、人を大事にします。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事
務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
日東産業株式会社
TEL: 024-557-5375 FAX: 024-556-0418
E-mail: info@nitto-sangyo.co.jp